学校番号	３０２０B

平成３１年度　　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の音楽１　　音楽の友社						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽の表現の基本である「歌う」ことを、声や楽器を用いて行い、自己を表現する喜びを味わいます。
・歌唱・器楽・創作・鑑賞を総合的に学習し、また実技の発表を自信をもってできる能力を養い、表現する喜びを味わいます。
・学習の到達度は実技試験や課題等の実施で評価します。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、想像的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	b：音楽表現の創意工夫	c：音楽表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の活動に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫する。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に着け、創造的に表現している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	楽しく豊かに声を出そう	【歌唱】 校歌 少年時代 野ばら 【音楽理論】	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a. 歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b. 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどの様に歌うか表現意図をもっている。 c. 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。 d. 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、声の音色の特徴と表現上の関わりを感じ取って聴いている。	観察 課題プリント ノート 実技テスト
	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 リコーダー ［アニメ・メドレー］	○	○	○		a. リコーダーのアンサンブルに関心を持ち、相手と合わせることで成り立つ演奏に主体的に取り組もうとする。 b. 旋律・リズム・音色など、音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽を作るかについて表現意図を持っている。 c. アンサンブルをするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ノート 課題プリント 実技テスト
後期	ギターに親しもう	【器楽】 ギター ［ラ・クカラチャ］	○	○	○		a. ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b. 旋律と和声の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質などを感受しながら表現を工夫している。 c. ギターの演奏に必要な技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ノート 課題プリント 実技テスト

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野はa，b，cの３観点で、「鑑賞」の分野はa，dの２観点で評価する。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。